

平成 2 1 年度第 1 回平川市地域公共交通協議会幹事会議録

幹事長	副幹事長	事務局長	事務局員

開催日時	平成 2 1 年 7 月 2 2 日 (水) 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 4 5 分
開催場所	平川市役所本庁舎 3 階「応接室」
案 件	1) 平成 2 1 年度経過について 2) 平成 2 1 年度実証運行に係る実施方法等について 3) 実証運行案について ・新屋地区直通線 (仮称) の運行について ・新屋・尾崎線、唐竹・広船線増便について 4) 平成 2 1 年度実証運行実施要領について 5) 運賃等の合意に係る協議について 6) ひらかわマイバスの会からの提案について 7) その他
出席者	(幹事出席者) ○菊池武弘幹事長 ○奈良進幹事 ○葛西高俊幹事 ○下山敏則幹事 ○山下祐介幹事 ○佐藤成子幹事 ○船水永一郎幹事 ○小笠原勝則幹事 (出席者 8 名) (事務局) 事務局長 齋藤久世志 事務局員 工藤慎一 (委員欠席者) 大黒正勝副幹事長 葛西金光幹事 須々田勝久幹事 小野敬子幹事 (傍聴者) 1 名 (成田準輝)
事務局長	ただいまより、平成 2 1 年度第 1 回平川市地域公共交通協議会幹事会を開催いたします。本日は、大黒正勝幹事がまだ来ておりませんが、平川市社会福祉協議会在宅副課長の須々田幹事、ひらかわマイバスの会理事の小野幹事、株式会社平賀ハイヤーの葛西金光幹事が欠席となっており、出席者は 9 名となっております。
幹事長	それでは、幹事会開催に先立ちまして菊池幹事長よりあいさつをお願いいたします。 協議会幹事の皆様におかれましては、公私ともにご多忙のところ出席いただきまして、誠にありがとうございます。 さて、今年度実施予定のバスの実証運行につきましては 5 月 2 0 日開催の協議会において実施計画と予算が承認されましたので、1 0 月 1 日から実証運行開始を目指し、沿線の町会との懇談、各関係機関と協議を行って参りました。その結果、本年度の計画のメインとなる通学バス及び循環バスの増便とともに、実証運行の内容に具

	<p>体的な方向が見え、本日の幹事会開催の運びとなりました。本日は、来週29日開催の協議会において審議される前に、皆様には昨年度と同様、幹事の皆さんから意見を聴取して協議していきたいと思えます。よろしくご審議の程、お願い申し上げます。</p>
事務局長	<p>それでは、規約により幹事長が議長を務めることになっていきますので、この後の議事進行については菊池幹事長にお願いします。</p>
幹事長	<p>それでは議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。さっそくですが、次第に従いまして本日の議事を進めてまいります。</p> <p>それでは案件1平成21年度経過についてを事務局から説明をいただきたいと思えます。</p>
事務局 幹事長	<p>(資料により説明)</p> <p>ただ今、説明いただきましたが、詳しい実証運行の内容についてはこの後に説明になります。この件につき質疑等ありましたらお願いします。</p>
船水幹事 事務局	<p>この通学バスは、一般の人は乗ってはいけないのか。</p> <p>後で実証運行の具体的な説明でも触れますが、新屋の通学バスについては一般の人でも乗ることができます。大人も100円、高校生も100円です。</p>
船水幹事	<p>バスが朝に新屋へ向かっているとき、または夕方に終点の新屋から駅方向に向かっているときは手を挙げれば乗せるのか。</p>
事務局 幹事長	<p>いいえ。回送中は乗せません。</p> <p>次に案件2平成21年度実証運行に係る実施方法等について、案件3実証運行案について、案件4平成21年度実証運行実施要領について、案件5運賃等の合意に係る協議について、を通して事務局より説明願ひします。</p>
事務局 幹事長	<p>(資料により説明)</p> <p>ただ今、説明いただきましたが、この件について質疑等ありましたらお願いします。</p> <p>新屋には高校生が何人いるのか。</p>
山下幹事 事務局 山下幹事	<p>今現在で35人です。</p> <p>6月22日の説明会には私も参加したが、黒石商業の3人の生徒のことも話題となった。その後はどうなったのか。</p>
事務局	<p>今のダイヤだと確かに3人は切り捨てとなるが、とは言え3人に合わせて時間を早く運行しても誰も乗らないと思えます。また、来年は黒石商業の生徒もいるかいないか不透明な部分もあり、今回は黒石商業の生徒には申し訳ないですが、7時30分発の1本ということでまとまっています。</p>
山下幹事	<p>黒石商業の切り捨てという話だが、バスがあるのに黒石商業の生徒だけ黒石駅から歩いて高校に向かうから間に合わないということだから、だったら弘前の高校生と同じようにバスで行けばいいということだと思っている。</p>
事務局	<p>6月22日以降は町会と話していませんが、その点については7時30分着の1本のみでまとまっております。</p>
事務局長	<p>切り捨てざるを得ないということで皆さん納得していただいたと記憶しております。</p>

山下幹事	私の感じ方は少し違って、切り捨てではなく、高校生みな平等であって駅から高校まで歩いていくかバスで行くかは自由ですということの結論だと感じている。家からバスに乗って、駅から鉄道に乗って、さらに駅からバスで高校へ行くというのは弘前へ通っている高校生はみなそうしているのであって、黒石商業へ通う生徒も同じ条件だということであったと思っている。その後はその3人に対してどうしたのか気になっている。それは地域の問題かもしれませんが、35人が全員乗ってくれば、のべ人数で70人で成功するという計算ですけども、町会の周知徹底というのはどうなっているのでしょうか。それと、定期券ではなく回数券というのがひっかかる。鱒ヶ沢の深谷にバスだと完全に定期券で、高校生が乗るとなれば親が払わなければならない、よって必ず乗るわけです。回数券の場合は乗ったかどうかカウントしていかないと分からないわけで、協力している人、いない人のカウントの仕方はどうなっていくのか気になっている。40人というのは自動的にカウントして成功した、しないを判断するのか、定期券を何らかの形でまとめて買っていただければ、買ったその人数で成功か失敗かがわかるが、その辺はどのようにするのか。
事務局長	この目標の設定は我々が勝手に定めたもので、地元の町会とはこの辺の話をしておりません。
事務局	実人数20人というのは、去年の新屋のアンケートで35人のうち、19人が実験に参加するという設定した数字です。
山下幹事	20人というのは持続可能な数字なのか。
事務局	単価300円×4.6km×3本で1日約4,000円の経費であることから、往復200円なので20人でペイすることになります。
山下幹事	それに、プラス一般の人もカウントするというのか。
事務局	はい。
山下幹事	だとすると、循環バスに乗っている人が通学バスに乗る可能性もあり、循環バスの利用者が減ることも考えられるのではないか。
事務局	循環バスと通学バスが時間空いているが、確かに乗らないわけではありません。
山下幹事	分散するわけですね。そこは連動させずに評価するのですか。
事務局	そのようにせざるを得ないと思います。
山下幹事	回数券がいいのか、定期券がいいのか、ずいぶんもめた。100円と200円の差も生じる。実験の評価というのはどのようにするのか。例えば朝に乗って、帰りは循環バスに乗ることになれば、循環バスにカウントされる。逆に通学バスの方に一般の方が乗れば、通学バスにカウントされる。その逆に本数を減らせば人が乗るということもある。料金も100円にしてしまうと200円になったときに乗らなくなる。その辺をどのように評価するのか。
事務局	定期は100円だと4割引で60円になりますので、収入が減ってかえって足枷になります。200円だと4割引で120円となります。先日の説明会でも説明したのですが、定期だと、土日祝日も計算に入れられて発行されますので、最終的には回数券とだいたい同じ月4,000円の負担になります。ある方の意見としては土日祝日は乗らないのにカウントされるのは納得いかない、と話される女性の方もいました。そのようなことから100円にまとまりました。100円であればNPOで発行して

	<p>いる回数券2枚で循環バスへ乗ることもできるし、1,000円で11枚発行されて1枚得になることもあることから最終的に100円に決まっております。循環バスに乗れば通学バスの実績になりますので、確かに問題点はあります。</p>
事務局長	<p>説明会では、例えば弘前の聖愛高校や南高校行きのバスと通学バスを一体にできないかという議論もありました。その辺は弘南バスで取り組むことはできませんか。</p>
葛西幹事	<p>基本的に100円の均一料金のバスは、定期券の発行はしていません。最初から安い値段ですので、定期券の販売は難しい。200円の定期券と100円の数回券では同じ価値となるので、回数券の方を薦めたという経緯がある。</p>
事務局長 下山幹事	<p>弘南鉄道と弘南バスのセットの定期券はできないものですか。</p> <p>そのようなものは扱っていないが、1枚の定期券で乗れるようにしている。東工業高校前駅で降りて、実業、柴田、聖愛行きのバスに乗ることはできるようにしている。割引率は変わらないが、2枚ものを1枚にしている。その他のところは考えておりません。</p>
山下幹事	<p>利用者から見れば一方が100円で一方が200円で、さらにはそこに一般の方と高校生が混在している。使いにくいシステムを導入しているわけで、できれば200円一律にして学生の定期はできるだけ安い値段にしたほうがいいわけだが、公共交通を維持して残していこうと協力するというところで町会としてはぜひ安い値段でやっていこうということだと思っている。こうなってくると事業者さんの努力が大切なのかなと思っている。バスは別々だし回数券だということになると使い勝手が悪い。1枚の定期で最後まで行けるのが理想であるし、1回買ってしまえば途中で止めるということもない。複雑な仕組みだと一番心配なのは、途中で投げ出してしまうことである。一番理想的な形ができないかと思っているのに、そのような商品がないと言われれば困ってしまうが、実験してからでも少しずつ検討していただけないかと思う。尾崎や広船、唐竹にも広げると計画にあるわけだから、事業者の方もこれに協力して、パッケージとしてやりませんか町会へ持っていくのが理想である。この先の協議の中で検討していただきたい。</p>
幹事長	<p>「ぴよんぴよん」みたいに循環バスと弘南鉄道のセット売りができればいい。実験期間中に結論が出るかと思えます。</p>
山下幹事	<p>「ぴよんぴよん」は東高校前駅からバスが出ていますが、柴田高校の生徒利用はゼロ、実業高校もほとんどなし、聖愛高校で3人くらいの利用である。冬だと10人くらいにはなる。柴田高校は冬でもほとんど乗らない。最初の頃は利用はたくさんあったが、今はほとんどない。</p>
幹事長	<p>今の話題は検討することでよろしいですね。</p>
山下幹事	<p>6月22日の説明会のときに事業者さんが来ていただければ、ものすごく話しやすかったと思います。具体的に、こんなことはできるとか、こんなことはできないとか、値段の問題もある。これぐらいまでサービスできるとか、利用者の方もこれぐらいまで負担できるとか、折り合いを付けることができる。目標の方も20人に届かなくて15人くらいになればどうするとかもある。</p>
事務局	<p>今回の実験は新屋という特定の地域ですので、仮に成功して荒田、平田森、その先の尾崎まで延ばすということになると、やはり200円で定期という議論もでてくる</p>

	<p>と思います。去年のアンケートを引き出しますと、100円なら利用すると答えた方が23人、200円でも利用すると答えた方が5人しかなかったということも踏まえています。来年度また地区を広げるということになれば、「びよんびよん」と絡めてお話しできるかと思います。</p>
幹事長	<p>35人の人をどこまで、ひも付きで利用するようにしていくかが一番大事だと思います。循環バスは収入が25%以上あれば成功としていますが、意見ありますでしょうか。</p>
山下幹事	<p>新屋の通学バスであれば町会で取り組んでいくので数をきちんと確保していくと思うが、循環バス25%を上回るというのは、誰が努力して獲得していく形としているのか。</p>
幹事長	<p>マイバス会の提案にもありますが、マイバス会でもこれを意識して取り組んでいきたいと思います。個人的には25%というのは厳しいなと思っています。</p>
事務局	<p>今現在、新屋・尾崎線で28.3%、唐竹・広船線で22.5%、杉館・松崎線で8.5%、岩館・大坊線で12.5%です。</p>
山下幹事	<p>新屋・尾崎線はこれに通学バスが入るので、かなりの増便になるのか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
山下幹事	<p>逆に言うと乗るだけ乗って通学バスはプラスになるが、循環バスはマイナスになる可能性もあるのではないかと。それでも25%いかなければ便数を残さないことになるのか。</p>
事務局長	<p>実態を把握した上で判断することとなります。以前の循環バスの朝7時台のバスがあったがほとんど利用者はいませんでした。乗っても1人でした。17時50分というのは前にもないし、その前の便と開きがあるので今まで使っていた人が移動したということにはならないと思います。17時50分は通勤帰りの人が使うと思います。</p>
山下幹事	<p>これを地域の人にどのタイミングで説明していくのか。</p>
事務局長	<p>実態調査を秋と冬に予定しておりまして、また実際に乗り込んで使い勝手がどうなのかということをチェックしていきたいと思っています。便数が増えたので分散したかどうか聞くことができます。この実態調査については、市役所が臨時雇用として雇い、弘前市と同じように1日かかりっきりで調査してもらいます。去年、市役所の職員で1週間実施したものよりは細かい調査、分析ができるものと思います。懇談会についても、また出向いて行って話を聞いていきたいと思っています。</p>
山下幹事	<p>8%利用の路線だと25%は酷ではないか。</p>
事務局	<p>それは杉館・松崎線ですので来年度の実験で尾上と結びます。来年度目標を定めません。</p>
山下幹事	<p>利用促進のため協議会とマイバスの会で取り組んで行くことになると思いますので、事業者の方も協力していただきたい。そうでないと8%から伸びない。</p>
奈良幹事	<p>最低限の便数であれば8%でしようがないと思っている。そうは言っても、より乗ってもらうための路線を検討していかなければならないものですから、尾上を結んだり岩館・大坊線と再編しようとしている。増便に関しては25%以上あれば、つまり乗れば増やすんだと、ハードルが25%だとするしかないと思っている。</p>

幹事長	<p>いくらでもいいということにはならない。</p> <p>その辺は周知徹底して、乗れば増やせますよとお知らせし、利用する気持ちにさせる必要があると思います。いろんな手段を使ってPRすればいいと思います。今回はとりあえず、6ページ以降にあるように進めていくしかないと思います。それでは、次の議題、ひらかわマイバスの会からの提案についてを、ひらかわマイバスの会理事長であります、佐藤幹事より説明願います。</p>
佐藤幹事	(資料18Pにより説明)
幹事長	この提案について何かありますでしょうか。なければ、この内容で協議会に協議案件として提出します。あと事務局から何かありませんか。
事務局	(資料19Pによりマックスバリュからの要望について説明)
船水幹事	この要望はどこから挙がったものか。
事務局	地域からも多少はありましたが、マックスバリュからの要望となります。
奈良幹事	仮に商工会が反対だとしたら通せないものなのか、という意見の決定のしかたでいいものか。
佐藤幹事	マックスバリュでは今年から商工会に加入している。
事務局長	市の事情もあってマックスバリュには支援するという事で誘致した経緯もあり、また雇用のこともあり市としては支援していく姿勢でおりますので、商工会で反対しているからと言って全く通すことはできないと言えない事情もあります。最初から路線を設定した上でバスを通さないのかと言われれば全くそのとおりではありますが、まさか今頃になってバスの要望が来るとは思わなかったというのが正直なところであります。
奈良幹事	大鰐浪岡線バイパスを通ると菊池医院とか文化センターに行ける術が全くなくなるので、その点は問題である。
幹事長	駅からマックスバリュへ行って、また駅へ戻るということになればいいのではないか。
事務局長	そのような案もあります。一旦循環した後にまた循環する方法もあります。マックスバリュとしては、回数券を買い上げて、例えば2,000円以上買い物した方に配るとか、また別の経費の協力をする用意はあるという話はしております。
奈良幹事	秋田県の鷹巣のマックスバリュではバスを乗り入れしている。ただ、構内の交通事故はあるようである。
船水幹事	協議会の人数と幹事会の人数は何人違うのか。
事務局	6人です。
幹事長	予定した議題はこれで終わりです。来週の水曜日、協議会を開催しますのでよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

以上、会議顛末を報告するものである。

(報告者氏名) 事務局員 工藤 慎一